

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	10mm 以上の腎結石に対する結石除去術の経尿道的、経皮的および両者の併用療法の治療成績の比較
当院の研究責任者	所 属：泌尿器科 責任者：岡島 英二郎
他の研究機関および各施設の研究責任者	大和高田市立病院（飯田孝太）、平尾病院（平尾周也）、済生会中和病院（清水卓斗）等 奈良県立医科大学 泌尿器科学教室 関連施設。
本研究の目的	10mm を超える腎結石では、経尿道的碎石除去術とともに経皮的碎石除去術も適応となる。前者は原則尿路の破綻をきたすことなくかつ細径軟性鏡の進歩に伴い上部尿路の複雑な構造にも対応しうる術式であるが、逆に閉鎖空間での内視鏡手術であり、抽石に要する結石移動距離や時間などが長くなることもあって術中の灌流から腎への負担は少なくありません。一方で、経皮的碎石除去術は経尿道的手術に比べ径が太く短い長さの内視鏡を用いるため抽石の碎石サイズが大きめで抽石の移動距離は短く、術中の灌流も低圧であるが、一方で皮膚、腎実質などを貫くため尿路や腎を傷つけることを前提とした術式となります。 本臨床研究ではこれまでの経尿道的および経皮的腎結石碎石除去術について、過去の結果を確認し、各術式の適応について要因となる因子を探索することにあります。
調査データの該当期間	2014 年から 2018 年末までの 5 年間
本研究の対象及び方法 （使用する試料等）	結石の位置や大きさ、症例の背景として合併症や既往歴、併用内服薬などの患者様側の条件、経尿道的、経皮的、両者の併用について手術方法や使用機材、碎石方法（デバイス）、治療成績、副作用、後遺症など臨床情報
試料・情報の 他の機関への提供	協力施設間で情報の共有を行います。情報共有の際には連結可能匿名化により個人情報の漏洩防止に配慮します。
個人情報の取り扱い	対象となる組織標本は個人名を消去し記号をつけて取り扱われ、研究の際に患者さんの名前や身元が分かることはありません。研究の結果は新しい治療方法の開発の目的で学会や論文等に報告されますが、臨床的な情報や研究の結果はすべて匿名で扱われるため、患者さんのプライバシーが損なわれることはありません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	TEL : 0742-24-1251 担当者：泌尿器科 岡島英二郎
備 考	